

愛媛大学図書館資料収集方針

平成16年4月1日
附属図書館長決裁

1. 目的

この方針は、愛媛大学図書館において、学生の学習・調査のため、必要な新しい図書を、分野を問わず可能な限り収集し、カリキュラムに対応した関連図書の整備に努めるとともに、学習活動の一層の発展に資するため、資料の収集について必要な事項を定める。

2. 範囲

人文・社会科学及び自然科学を広く視野に入れた、全学問分野に亘る次の種類とする。

(1) 専門図書

教育、研究用図書で、専門誌又は新聞等の書評欄での社会的評価の高い図書、重要度、利用度、緊急度を考慮した最新版、改訂版図書

(2) 参考図書

各分野広範囲に亘る参考図書（辞典、事典、年鑑、年報、統計、白書、便覧、ハンドブック、年表、地図、法令集、書誌・目録等二次資料）

(3) 一般教養図書

広範な教養を身につけるために必要な図書（社会・文化を理解するための基本的資料、著名な全集、叢書、シリーズ、ベストセラー、文学賞受賞作品、古典的名著）

(4) 新聞、雑誌

国内外の主要新聞、本学の教育・研究に密接に関連する専門新聞、出版情報を主題とする新聞／専門雑誌、総合雑誌、学習雑誌、教養雑誌、文芸雑誌

(5) 視聴覚資料

語学資料のほか、専門図書、参考図書等の視聴覚資料（ビデオ、CD、DVD）

(6) 電子的資料

CD-ROM、DVD-ROMなどの電子的資料

(7) その他

ア. 地域資料

イ. 記念文庫図書

ウ. 松高文庫図書

エ. 本学関係資料

オ. 図書館関連図書

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年7月7日から施行し、平成18年4月1日から適用する。